

平成27年第4回定例会

平成27年
12月14日

地方公会計の整備促進について

問 地方公会計を取り入れる事は、本市の財産管理の効率化や無駄をはぶく意味において、もっとも重要とされると思います。今後の整備促進に向けたスケジュール及び、日々仕訳の重要性についてお聞かせ下さい。また、地方公会計整備に係わる特別交付税処置について、どのようにお考えなのかお聞かせ下さい。



答 地方公会計につきましては、複式簿記を取り入れることにより、資産などのストック情報が見える化されることで、現金主義会計の補完として整備するものでございます。財務書類整備については、他の地方公共団体との比較を容易することによって、その財政構造の特徴や課題をより客観的に分析することができ、市民等に対するわかりやすい説明、今後の財政運営への活用を充実させることが可能になります。特別交付税処置についてですが、職員研修に要する経費、財務書類等の作成にあたる経費として活用し、平成27年度決算において、財務書類の作成が可能になるよう、取り組んでまいります。



マンホールトイレの整備拡充について

問 マンホールトイレの整備拡充についてお聞きます。災害時のトイレ対策として、段ボールトイレや簡易トイレを用意しているのは 存じて居りますが、清潔で、衛生的な利点があるマンホールトイレの整備を避難所となる小中学校に設備するべきと考えて居りますが、市としてのお考えをお聞かせ下さい。

答 マンホールトイレの整備充実については、清潔で衛生的な利点もあり、議員ご指摘のとおり、今後の整備充実について、前向きに検討してまいります。



消防団の更なる充実について

問 消防活動についてお聞きます。市民の皆様の協力によって成り立っている消防団の更なる充実についてお聞かせ下さい。また、複雑多様化する災害対策と火災0を目指した予防対策強化についてどのようにお考えなのか、今後の課題もあわせてお聞かせ下さい。



答 消防団の更なる充実についての質問ですが、今年度から消防団充実強化事業を立ち上げ、資機材や装備の充実に取り組み、訓練の実施や消防力の強化に取り組んで居ります。次に複雑多様化する災害対策ですが、平成31年度に開通する阪神高速大和川線に伴うトンネル内での災害対策について、新たな資機材も必要となり、消防職員の安全・安心も充実させながら大和川線開通にあたり進めてまいります。火災0を目指した予防対策強化について、今後も消防団、火災予防協会、婦人防火クラブ、自主防災組織と連携を取り、市民の皆様との協働により、安全・安心の取り組みを強固に進めてまいります。

高見ノ里駅・布忍駅の周辺整備(バリアフリー化など)について

問 高見ノ里駅・布忍駅のバリアフリー及び、周辺整備についてお聞きます。本市のバリアフリー基本構想の中に、平成32年度までに整備をすると記載されて居りますがあと5年しかありません。市として計画が前進しているのか？現在の状況をお聞かせ下さい。

答 高見ノ里駅・布忍駅の整備につきましては、本市のバリアフリー基本構想に基づき、去年は、河内天美駅のバリアフリー化が完了いたしました。引き続き、2駅についても平成32年度末までの事業実施に向け、事業者である近鉄との協議を進めてまいります。また、駅周辺整備については、高見ノ里駅・布忍駅の駅前広場整備もバリアフリー化と共に検討してまいります。

観光産業の取り組みについて

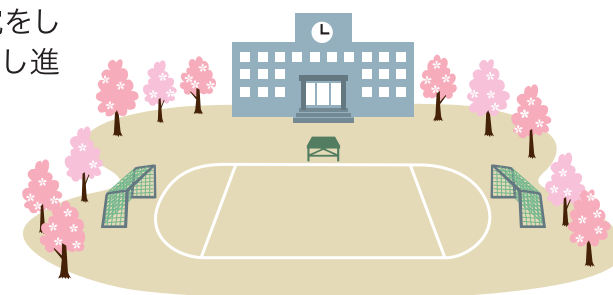
問 観光産業の取り組みについてお聞きます。平成24年6月・平成26年10月議会にも、弁天池の土地有効活用についての質問をさせていただきました。再度の質問となりますが、現状をお聞かせ下さい。また、観光産業を前面に打ち出した戦略についての質問ですが、平成30年にアリオができ、平成31年には阪神高速大和川線開通・32年にイオンタウンと、これからの5年で、松原市は大きく変わっていくと思います。本市の観光産業の中身は、宣伝・アピールが主であったが、これからは、観光客を呼び込む仕組みやシステムについて、積極的に考えていくべきと思いますが、市としてのお考えをお聞かせ下さい。

答 弁天池につきましては調査の結果、雨水貯留機能が不要となるため、今後、土地有効活用についても考えてまいります。観光産業を全面的に打ち出した戦略についての質問ですが、近年急増する外国人をこういった大型商業施設や地元商店街へ呼び込み、松原の魅力を海外へと発信するため、商工会議所が主体となって、阪南大学やその他民間企業などとの協働によるプロジェクトが昨年9月よりスタートしております。本市もプロジェクトに参加しており、地域産業の活性化と観光産業に関する新しい取り組みについて、積極的に研究し、議員ご指摘のとおり、活性化を目指し取り組んでまいります。



教育環境の整備について

問 教育環境の整備についてお聞きます。天美北小学校の大規模改修工事が、業者の倒産に伴い長い間、工事がストップしている現状が今なお続いています。なぜこのような結果になったのか？今後の工事再開もあわせて、どのように進んでいくのかお聞かせ下さい。また、小中学校に冷房設備の必要性を予算化して調べた現状と今後の方向性についての質問ですが、平成25年9月・平成26年10月にも質問をさせていただきました。調査した結果について再度お聞かせ下さい。また、調査研究をした結果として、どのように活かし進めて行くかをお聞かせ下さい。



答 27年6月22日から11月13日までの期間で工事を発注をしましたが、業者より工事続行不能届の提出により、9月25日から工事が停止しておりました。現在は、工事途中の出来高での精算も終わり、冬休みより工事を再開させ、早期に完成を目指し取り組んでまいります。平成26年度に予算化しまして普通教室の空調整備調査を行いました。それらの結果を踏まえまして、屋前から室温が高くなる最上階の教室を空き部屋や教材倉庫などに利用するなど、教室配置を考慮ことや授業のカリキュラムのなかで空調設備の整っている特別教室を活用するなど、子ども達の教育環境を整えてまいります。



公明党松原市議団

ホームページが大好評!!

MATSUBARA-CITY KOMEITO OFICIAL WEB SITE

公明党松原市議団ホームページ、本年1月より新たにスタート！数多くの方にアクセスをして頂き、本当にありがとうございます。松原市の情報や公明党市議団の活動はもちろんの事、各個人活動及び、実績報告写真などを閲覧できます。これからも市民の皆様のため、しっかりと働いてまいります。

市政に関する事など何でもお気軽にご相談下さい。

